

いま中国で何が起きているのか？ —習近平体制の現状と課題

神田外語大学教授 興 栢 一 郎
こう ろき いち ろう



*今の中国をどう見るか

*「核汚水」報道でわかる中国の世論操作

*海洋放出批判キャンペーンのしかけ

*不動産問題の根本原因は供給不足

*財政難に陥って身動きとれない地方政府

*経済不振の背景は習近平独裁

*富裕層はどこへ

*経済を萎縮させる反スパイ法

*毛沢東を研究してわかったこと

*反米、反EU路線に出口はあるか

山縣 それでは皆様、開会いたします。（拍手）

本日が秋からの第1回になります。この夏は異常な暑さで、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。第1回にこれだけの方に集まってくれました。ありがとうございます。

この秋以降、新しい先生にどんどん登場いただいて、年末に向けて面白い講演会を企画しておりますけれども、今日は興栢先生に来ていただきました。意外ですけれども、先生には初めて来ていただいたと思うのですが、今日は中国の問題を先生から伺って勉強させていただきました。先生のご経歴は九州大学の経済学部をご卒業になって、三菱商事の中国チームで活躍されて、カリフォルニア大学バークレー校の大学院で修士を取られて、外務省専門調査員として香港総領事館でも働いていらっ

しやいました。そういう意味で、非常に幅広い資格で中国問題を見ていらつしゃるといことは皆さんもご存じだと思います。現在は神田外語大学での教授のお仕事をなさっています。

今、ちょうどたまたま汚染水問題で日中関係の緊迫度が増しておりますし、中国の不動産会社の状況も報道されております。中国経済そのものがどうなるのかということは、日本だけではなくて、世界の注視的だと思います。このタイミングで先生をお呼びできたのはたいへんよかったです。今日は皆様、じっくりお聞きいただきしたいと思います。（拍手）

先生、よろしくお願ひいたします。（拍手）